

議会議案第4-15号
令和4年12月15日

葉山町議会議長 待寺 真司 様

提出者	葉山町議会議員	鈴木道子
賛成者	葉山町議会議員	笠原俊一
	同 上	伊東圭介
	同 上	荒井直彦
	同 上	中村和雄
	同 上	飯山直樹
	同 上	金崎ひさ
	同 上	土佐洋子
	同 上	石岡実成

带状疱疹ワクチン接種への助成並びに定期接種化を求める意見書の提出
について

葉山町議会会議規則第13条第1項及び第2項の規定により、別紙のとおり提出
します。

提出理由

带状疱疹ワクチン接種への助成並びに定期接種化を求めるため、国に対し意
見書を提出するものです。

带状疱疹ワクチン接種への助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあると言われている。

よって、政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチン接種への助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月15日

葉山町議会

提出先 財務大臣、厚生労働大臣